

ー仲間とともにつながる学校へー

「視座」の話。～教職員の「視座の高さ」は、教育の質に非常に大きく関わる～

先生方、先日の校内研修、大変お疲れ様でした。熱心にご参加いただき、ありがとうございました。

今日は、先生方のアンケートを集約する中で、感じたことをお伝えさせていただきます。

それは、先生方お一人おひとりの「視座」が、これまで以上に高まっているということです。

「視座」とは、物事をどの立場や視点から捉えるか、という根本的な位置のことです。研修で共有した、変化の激しい社会で子どもたちが生き抜くために必要な力や、AI時代における教育の役割といった大きなテーマに対し、皆さんが向き合ってくださいることが、今後の生徒の気づきや学び、成長に反映されると信じています。

子どもが主体的に学ぶ授業における「高い視座」の重要性と利点

日々の授業づくり、本当にお疲れ様です。私たちは「子どもが主体的に学ぶ授業」の実現をめざし、試行錯誤を重ねていますが、今回はこの主体的な学びを引き出す授業づくりにおいて、私たち教員が「高い視座を持つこと」がいかに重要で、どんな利点があるのかについてお伝えしたいと思います。

「視座」と「視野」と「視点」

「視座」は、物事をどこから見るか、という根本的な位置。例えるなら、山のどの高さから景色を眺めるか、というようなもの。

「視点」は、物事をどの角度や切り口から見るか、という具体的な着眼点。これは、同じ山の上からでも、東を見るか西を見るか、

あるいは特定の木に焦点を当てるか、といった違いに相当。

「視野」は、物事をどの範囲や広がりで見えるか、という全体像。これは、山頂から見える景色の「広さ」そのもの。

「視座」「視点」「視野」はそれぞれ異なる概念ですが、密接に関連しており、これらを意識的に使い分けすることで、より深い洞察と適切な意思決定が可能になります。

高い「視座」に立つことで、より広い「視野」で物事を捉えることができます。

広い「視野」の中で、適切な「視点」を見つけることで、問題の本質に迫ることができます。

授業研究においても、「視座」を明確にし、多様な「視点」と広い「視野」を持って物事を捉えることが重要です。

教職員にとっての視座の高さは、単に自分の担当教科や担当クラスの生徒を見るだけでなく、より広い範囲で教育を捉える能力につながります。

「高い視座」とは？

まず、「高い視座」とは具体的にどういうことでしょうか。これは単に「広い視野で見る」ということだけではありません。

子どもが主体的に学ぶ場を創る上で、私たちはとかく「どんな活動をさせるか」「どんな教材を使うか」といった具体的な手法に意識が向きがちです。もちろんそれは大切です。しかし、一歩引いて、

「この学びを通して、子どもたちが将来どんな力を身につけてほしいのか？」

「学校全体の教育目標や、社会が求める資質・能力と、この単元や活動がどうつながるのか？」

「子どもたち一人ひとりの“なぜ？”“もっと知りたい！”という内発的な動機をどう育むか？」

といった、より大きな目的や理念、そして子どもたちの根本的な成長のプロセスから授業を捉え直すことが、ここでの「高い視座」を意味します。例えるなら、目の前のパズルピースの形だけを見るのではなく、完成したパズル全体の絵や、その絵が描く物語まで見通すようなイメージです。

教員自身がその目的を深く理解しているからこそ、子どもたちが自ら問いを見つけ、探究を深めるための魅力的な「問い」や「仕掛け」を生み出せるようになるのだと思います。子どもたちは、単に指示された活動をするのではなく、「自分たちの学びには意味がある」と感じ、意欲的に取り組むようになります。

目の前の活動でのつまずきや課題も、高い視座から見れば、実はその子の興味関心の根底や、既習事項とのつながり、あるいは今後の学びへの発展性といった、より本質的な学びのプロセスとして捉えられます。これにより、子どもたちの「問い」や「気づき」を拾い上げ、彼ら自身が次の学びへ向かえるよう、最適なファシリテーションや環境設定ができるようになるわけです。

子どもたちの興味を引き出し、活動を設計するといった日々の実践は不可欠です。しかし、そこに「高い視座」という視点を持つことで、私たちは子どもたちの「なぜ？」や「もっと！」という声に、よりの確に答えられるようになります。そして、子どもたちが未来を切り拓く力を育む、真に意味のある学びの場を創造できるようになるはずです。

ぜひ皆で、子どもたちの未来、学校全体の教育、そして社会のあり方という大きな絵の中で、私たちの授業づくりを位置づけていきましょう。(語りすぎた…すみません)



More Information



「指定校の実践事例から学ぼう！」
(R5公開学習会)



大阪府情報活用能力
ステップシート



質の高い
探究的な学びの実現
(情報活用能力との
一体的な充実)